



日刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

98.5.21 No.4788

3月ダイヤ改以降の問題点 ②

労働時間の間違い続出、4時間の仮眠で400kmの乗務……

【千葉転編】

長時間拘束、ロングラン是正を

「E/C関係」 全体的に長時間拘束、ロングラン行路などが目立つ。典型的な行路では、二五五行路(佐原泊)で二〇時間三〇分の一の拘束で四四六・九キロを、二五六行路(佐倉泊)では四五三・六キロを乗務する。しかも、成田エクスプレスでの一三〇キロ運転があるなど、肉体的にも精神的にも疲労し、安全にも大きな影響を及ぼす。

この他にも、泊行路で二〇時間以上の拘束が十一行路、日勤で九時間以上の拘束が十三行路あるなど、依然として仕業の緩和が行なわれていない状況だ。

また、一二五行路(幕張泊)では四時間にもわたって列車を持ち切りになっている。行路の渡り時間についても、前行路の労働時間Aを確保していないところがある。

一〇六〜五一行路 ▲三一分
一一〇〜二五一行路 ▲四九分
一〇七〜一七一行路 ▲三二分
と三方所もあるなど、依然として仕業の緩和が行なわれていない状況となっている。

【DL関係】

貨物会社との受委託解消にもなうDL業務の拡大では、当初会社側は、「DLの資格を持っている運転士が十五名ほどいるので、予備に交替で五名づつ入ってもらい、二カ月交替位でDL業務を担当してもらう」と説明を行っていた。しかし、DL業務がすでに始まっているのに区長は「過渡的な状況だか

ら、今後五人体制にする」と言うだけで、今だにきちんとした要員体制を組んでいない。

しかも、DL業務の担当がはつきりしている運転士(JR総連)に四月以降見習を付けているのだ。その分残るDL担当の運転士にシワ寄せがくるという状況だ。結局、業務より労務政策が優先されている。

また、業務の面でも、徹夜で八時頃アケになった運転士を、翌日の早出(五時頃)の行路に乗務させるということまで行なっている。これでは体が休まる暇もない。

さらに、DL業務で久留里線に入る行路があるにもかかわらず、入れる運転士が二名しかいないため、年休にぶつかつた場合は年休も取得できないということになりかねない状況だ。

労働時間を間違えた!

千葉支社は、千葉運転区の三月ダイヤ改での労働時間が間違っていたとして、四月二二日、労働時間の訂正を行なってきた。

内容は、三月一四日のダイヤ改当日から三月末まで、千葉運転区の運転士の労働時間が、平日で一〇行路、土曜で八行路、休日で九行路が、一人一日平均で一分ほど少なく労働時間をカウントしていたというのである。

千葉支社の説明では、入出区にともなう駅との時間の取り方が間違っていたために発生したというのである。

しかし、行路を作成する上では、現場とのやりとりを行なうことになるが、千葉運転区だけでこうした間違いが発生したという事は、千葉運転区の区長

をはじめとした管理者がなんらの点検もしていなかったか、あるいは全く分からなかったという事だ。これでまともな列車の運行ができるというのであるうか。

しかも、支社が訂正の説明を動労千葉に行なった後も千葉運転区では、訂正の内容が業務揭示に張り出されるわけでもなければ点呼の時に説明されるわけでもないのだ。ただ、点呼場の脇に労働時間が修正されたという趣旨の紙が置いてあるだけだというのだ。

運転士がちょっととしたミスですれば「処分だ」「賃金カットだ」と直ぐに区長を先頭に騒ぐくせに、自分たちに責任が及ぶときには知らん顔をしてやり過ぎそうとしているのだ。

労働時間という最重要の部分の間違っていた以上、現場当局はきちんと説明すべきだ。

【銚子編】

PRC化で遅れ

「PRC関係」 総武本線が三月末からPRC化されたが、時刻素の関係で三〇秒から四五秒の遅れが出てしまう。とくに、駅構内に踏切があるところでは、出発信号が赤で踏切が閉まっていて閉まっている場合、一度踏切が開き再度踏切が閉まってからでない信号が青にならないために、どうしても遅れが出てしまうため発車時間を見なおすべきだ。

また、滑河駅では、上り二番線の出発信号が復本線のために開くのに一分かかるが、一五行路の一四五六Mと三〇行路の四二八Mは停車時間を四五秒に設

定しているために、遅れがでてしまう。三月ダイヤ改交渉の席上千葉支社は「滑河については全一分停車にした」と回答しているが、今だに是正されていない。

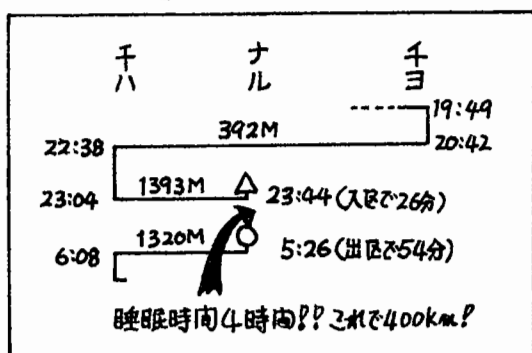
睡眠四時間で四〇〇キロ乗務

「大型行路・睡眠時間」 大型行路については、

二二行路・四四三・八キロ
二四行路・四三〇・四キロ
二七行路・四〇〇・六キロ
三〇行路・四四〇・八キロ
三三行路・四四〇・八キロ
となつている。しかも、二七行路や三〇行路は、睡眠時間が四時間程度しかない中で四〇〇キロを超える乗務が強制されているのだ。

左の二七行路の表でも分かる

銚子 27行路 (抜粋)



ように、〇時〇九分に入区手配が終わって、〇時三〇分に寝たとしても翌日には出区があるため四時間しか眠ることができない。これでどうやって安全を確保しろというのだ。